

さきたま調節池（旧忍川）に見られる水辺の鳥



コガモ

体長は小さめの34～38cm。日本のカモの中では小さい種類。雄は頭が栗色で目の周りから首の後ろにかけて緑色系。体は灰色。湖や川に多く、秋から春遅くまで見られる。さか立ちして水の下植物を食べる。



カルガモ

体長は53～63cm。中国など東アジアに広く分布する。くちばしの先だけ黄色。全身の羽の色は雄、雌ともに褐色。腰の部分に白い三日月模様（風切羽のふちが白い）。水辺の草地に巣をつくる。植物を中心とした雑食で、水草や種子、昆虫、魚など食べる。



マガモ

体長は50～65cm。北半球の温帯に広く分布。日本には冬鳥として全国に渡来する。雄は黄色のくちばしで、一時、緑色の頭、白い首輪、白と褐色の胴体とあざやか。めすはくちばしが黒っぽく褐色の胴体。

植物を中心の雑食。水中に首を入れたり、さか立ちして食べる。



コサギ

体長は60cm。林の中で集団で巣を作り、各地の水辺で見られる。足、首が長く、くちばしが黒い。足の指が黄色。魚などを食べる。

ダイサギ

体長は90cm。世界の熱帯・温帯に広く分布。全体が白色で冬はくちばしが黄色くなる。魚などを食べる。